

（２）今後さらなる展開を行うための提案

- ① 今回のWSで本設計支援事業は終了となるが、これをきっかけに設計者、木材関連企業、森林組合が積極的に情報交換を実施し、よりよい建物が地域材を使用して建てられていくことを強く望む。
- ② 今回、設計者と地域木材関連企業および森林組合関係者との情報交換の場を設けたことは、無理ない木材製品の提供と品質の向上に繋がるものと期待される。こうした取り組みが繰り返し実施され事例紹介として第三者に示す資料をまとめることができれば、情報交換がなくてもスムーズに設計を進めることができる基盤が構築されるものと期待する。
- ③ 今回は公表できないが材料の価格表または時価等を考慮した価格算定表の作成は地域材利用拡大に向け、極めて重要であり、過去の事案についても調査を進め、丸太の相場や技術力の変遷を踏まえて、代表的部材サイズおよび規格についてだけでも設計者に公開されることを望む。